


TOTO

ロータンク金具



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
---	------------------	---	---------------------

注意



禁止

陶器に衝撃を与えない

陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。

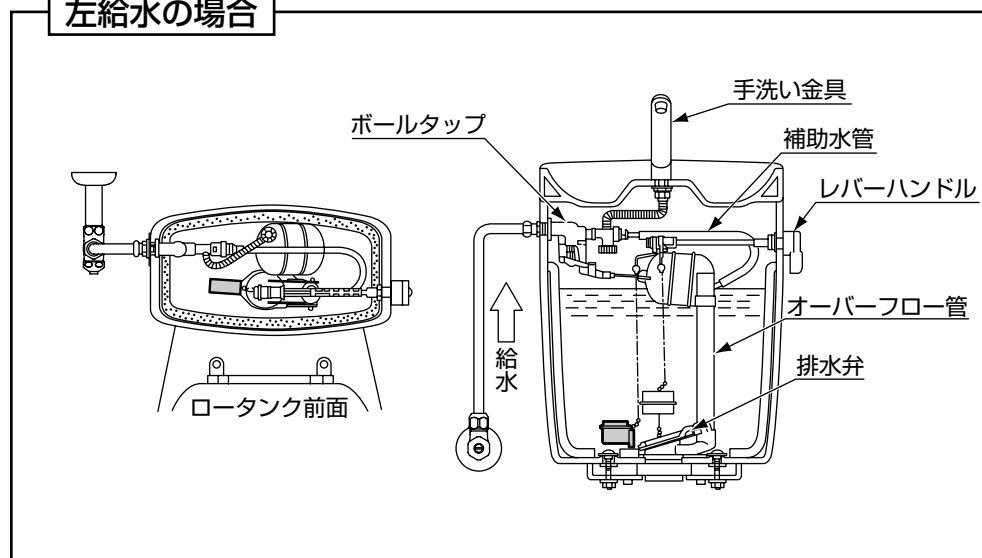


必ず実行

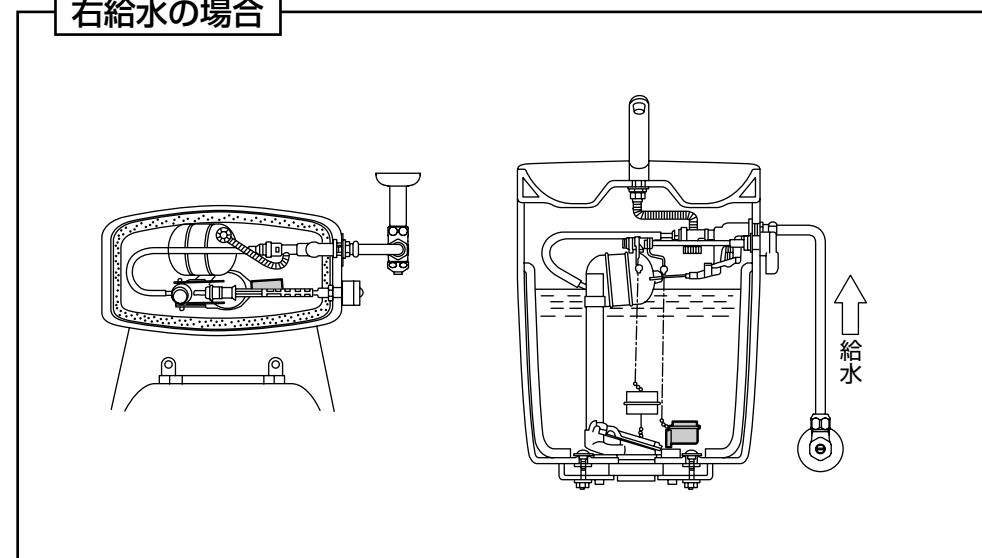
設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

各部の名称および施工のポイント

左給水の場合



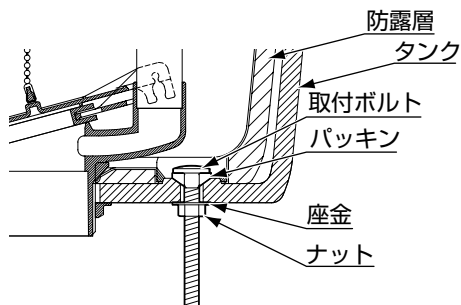
右給水の場合



器具の取り付け

1 取付ボルトの取り付け

背の低い方のナットを使用して強固に締め付けてください。



2 排水弁の取り付け

防露層取付部の形状に合うように傾けてください。

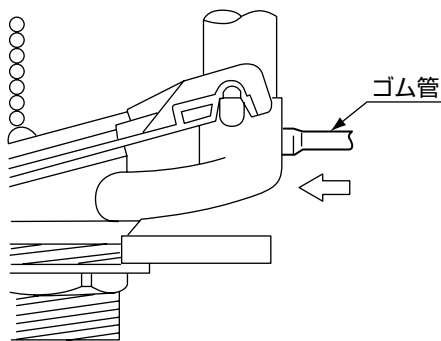


必ず実行

左給水と右給水の場合とは取付方向が違います。オーバーフロー管が、ボールタップと反対側になるよう取り付けてください。

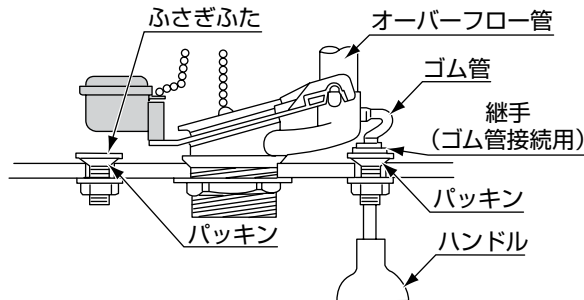
タンク防露層下面部は切り取らないでください。

流動式の場合、取り付け前にゴム管を差し込んでください。



3 流動金具の取り付け (流動式の場合)

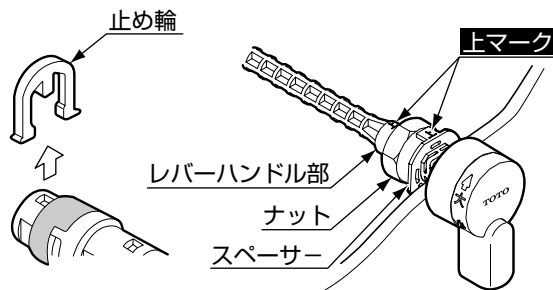
継手 (ゴム管接続用) をオーバーフロー管側のタンク底面取付穴に取り付け、ゴム管を差し込んでください。ゴム管は絶対に切らないで取り付け、つぶれたり、折れたりしないようにご注意ください。



取り付け後はハンドルを右へ回して、閉めてください。

4-1 レバーハンドルの取り付け

① 止め輪を上へ引き抜き、レバー部およびナット・スペーサーをスピンドルから外し、レバーハンドル部をロータンのレバー取付穴に差し込んでください。スペーサーをはめ、ナットで締め付けてください。そのとき、レバーハンドル部の上マークとスペーサーの上マークが必ず真上になるようにしてください。



4-2 レバーハンドルの取り付け (つづき)

② レバー部を十字の穴のある側からスピンドルに差し込み、止め輪を下図の位置に差し込みロックします。

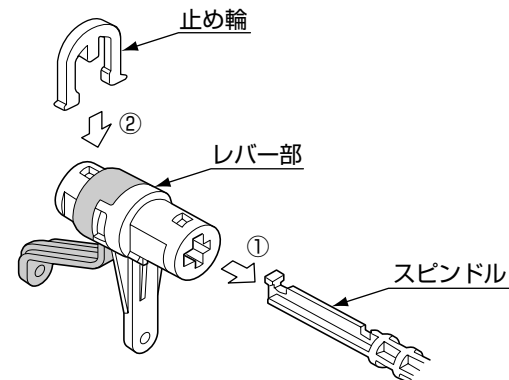


必ず実行

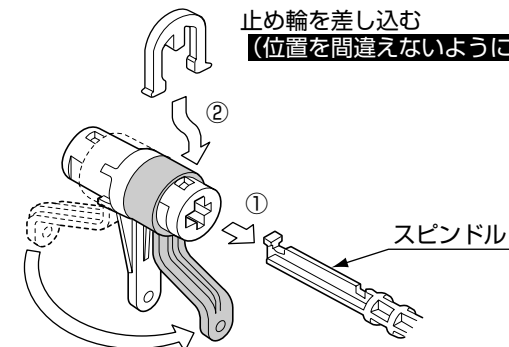
止め輪は確実にロックしてください。

レバー部の取付方法は左給水と右給水とで異なります。

左給水の場合



右給水の場合



5 玉鎖の接続

- ①大用浮玉（ピンク浮玉）につながっている玉鎖は、大用レバー（ピンクレバー）につないでください。
- ②小用浮玉※（黒い浮玉）につながっている玉鎖は、小用レバー（白いレバー）につないでください。

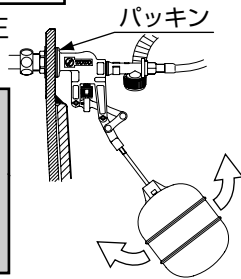
※浮玉は白の場合もあります。

必ず実行 玉鎖をレバーに接続するときは、玉鎖が交差したり、絡んだりしないよう十分注意してください。洗浄不良となることがあります。

6 ボールタップの取り付け

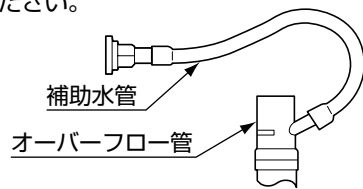
浮玉が上下にスムーズに動くよう正しく取り付けてください。

必ず実行 ボールタップを斜めに取り付けるとボールタップの浮玉と防露層が干渉し止吐水不良の原因となります。

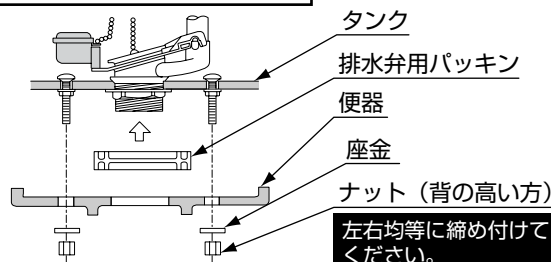


7 補助水管の接続（補助水管付きの場合）

補助水管は、確実に差し込んでください。ゴム管は絶対に切らないで取り付け、つぶれたり、折れたりしないようご注意ください。



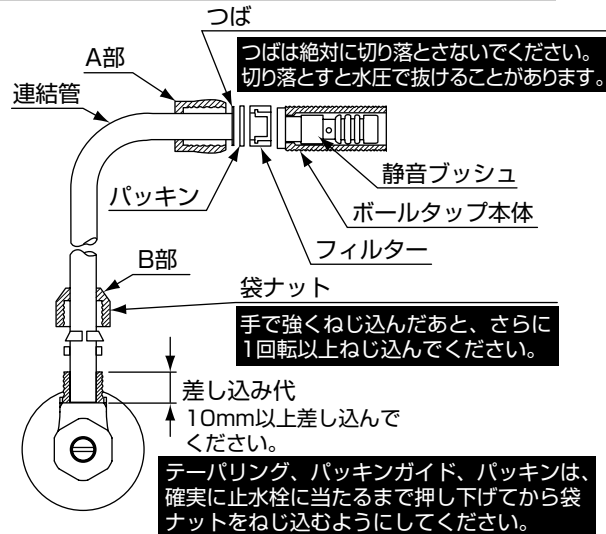
8 タンクと便器の固定



9-1 ボールタップと止水栓の接続

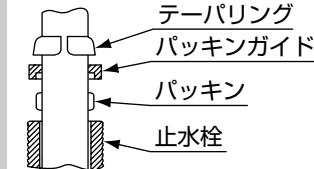
一般方式の場合

A部を先に固定したあと、B部を固定してください。



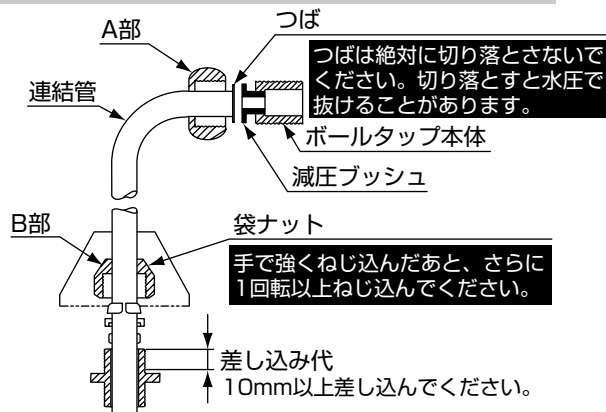
注意

※テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番・向きを間違えないでください。



流動・水抜き方式の場合

A部を先に固定したあと、B部を固定してください。



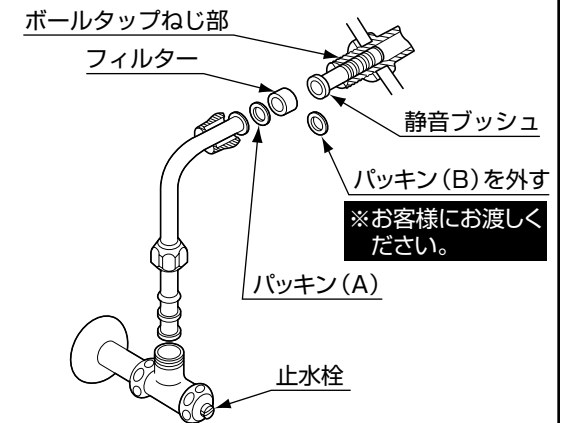
静音ブッシュの取り扱い（一般方式の場合）

水圧が0.1MPa以上の場合はパッキン（B）を取り除き、静音ブッシュを組み込んだままセットしてください。このときのパッキン（B）は使用しませんのでお客様にお渡しください。手渡しできない場合は同梱の取扱説明書の中に入れておいてください。

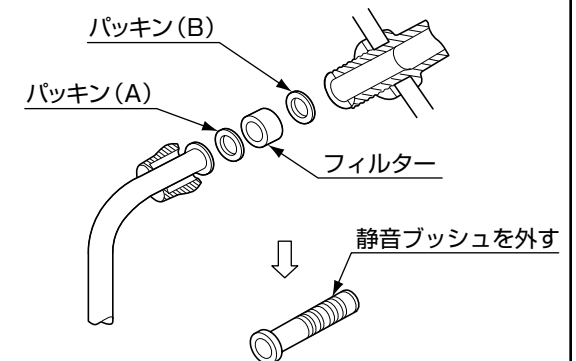
水圧が低く（0.1MPa以下）、タンク貯水に時間がかかりすぎる場合は静音ブッシュを外してセットしてください。

この場合、パッキン（B）はそのままご使用ください。

【静音ブッシュをセットする場合】



【静音ブッシュをセットしない場合】



9-2 ボールタップと止水栓の接続 (つづき)

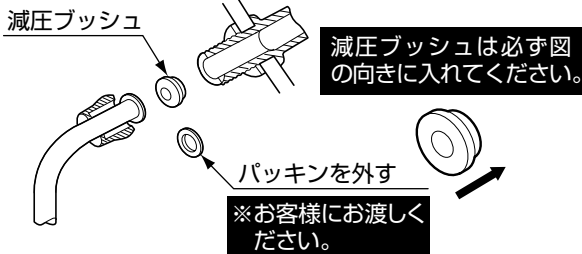
減圧ブッシュの取り扱い(流動・水抜き方式の場合)

水圧が低く(0.1MPa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎる場合は減圧ブッシュを外してセットしてください。

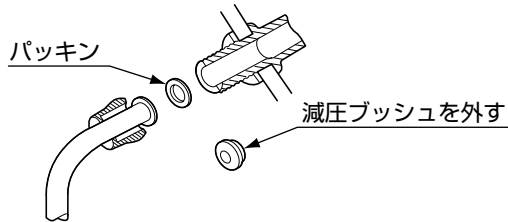
その場合、接続部には商品に付属のパッキンを使用してください。

減圧ブッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

[減圧ブッシュをセットする場合]



[減圧ブッシュをセットしない場合]



10-1 排水弁の作動確認

ボールタップと止水栓取り付け完了後は、大洗浄、小洗浄それぞれが正常に作動することを確認してください。

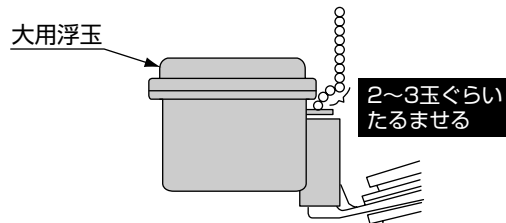
大洗浄時は大用浮玉、小用浮玉ともに浮き上がり、小洗浄時は、小用浮玉のみが浮き上がります。

正常に作動しない場合には玉鎖の調節をしてください。

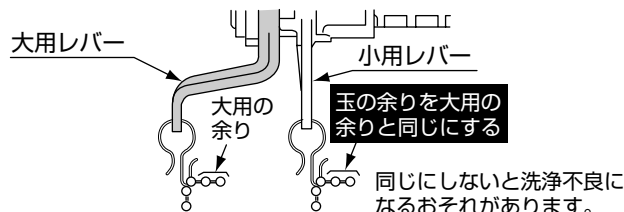
最初は玉鎖を調節せずに、そのままの位置でレバーを接続して動作をご確認ください。レバーを大側に回したときは上下両方の弁が、小側に回したときは上側の弁のみが開くことをご確認ください。正常に作動しない場合は次の手順で調整してください。

10-2 排水弁の作動確認 (つづき)

①初めに大用浮玉(ピンク浮玉)につながっている玉鎖を、排水弁操作部の大用レバー(ピンクレバー)につないだ状態で、玉鎖のたるみが、2~3玉ぐらいになるように調節してください。



②小用の玉鎖を大用で調節したときに余った玉の数と同じ数だけ玉を余らせてください。



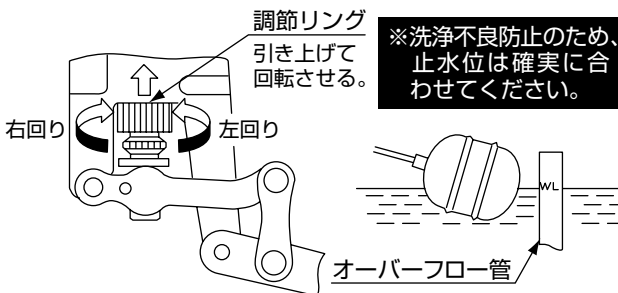
11 水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL(標準水位)に合うように、次の要領で調節してください。

①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。90°回すと約8mm水位が変わります。

- ・上から見て右回し・・・止水位が上がります。
- ・上から見て左回し・・・止水位下がります。

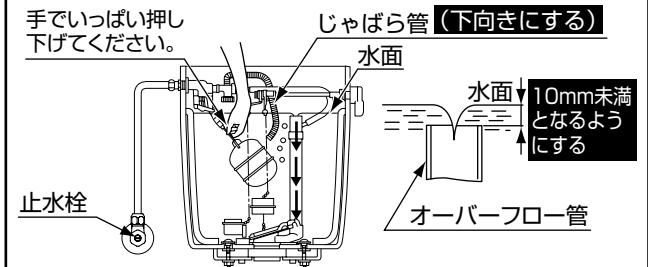
②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。



再生紙を使用しています。

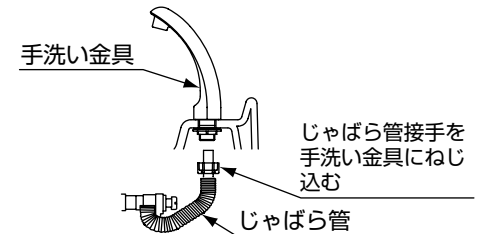
12 止水栓の調節

浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をおけば、万が一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

13 手洗い金具の接続(手洗い付きの場合)



14 手洗い金具の吐水量調節(流動・水抜きの場合)

調節金具をドライバーなどで回し、手洗い金具からの吐水量が適当な水勢になるように調節してください。



15 取り付け完了後の確認

2~3度操作して、ボールタップの浮玉が干渉しないことや水漏れなどの異常がないことを確認してください。なお、冬期間の凍結予防方法についてはお客様にご説明ください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※BL品(BLマーク証紙貼り付け品)において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。

(財)ベターリビング ホームページ...<http://www.blhp.org/>
電話番号...03-5211-0559